

OTS-アッセイのための病理組織検体についてのお願い

OTS-アッセイには、一定の条件を満たした「がんの組織」を含む病理検体(FFPE 検体)が必要です。『病理標本作製に関する委任状』をご確認のうえ、病理組織検体を作製し、病理診断報告書コピーと併せてお送りいただくようお願いします。不明な点がある場合には受診前または紹介前にOTS-アッセイ係にお問い合わせください。

<OTS-アッセイ係> 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 医療開発研究部門

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

電話 019-651-5111 (内線) 5688

<病理検体送付先> 岩手医科大学附属病院 がんセンター OTS-アッセイ係

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

電話 019-613-7111

■ 検査に必要な病理組織検体（未染標本）

1) 有核細胞中の腫瘍細胞比率が 30%以上ある FFPE ブロックの未染標本を提出していた
だく場合、以下①②③をご準備ください。

① $8\mu\text{m}$ の厚さの未染標本（スライドガラス）

a. 肿瘍面積 **25 mm² 以上** の未染標本を準備する場合: 未染標本 × 8 枚

b. 肿瘍面積 **25 mm² 未満** の未染標本を準備する場合: 組織量が 1 mm^3 になる枚数

② 上記①の FFPE ブロックから作製した HE 染色標本 2 枚

③ 病理診断報告書のコピー

2) 未染標本をご用意できない場合は、以下①②③をご準備ください。

① 主要な FFPE ブロックを 1～2 個

② 上記①の FFPE ブロックから作製した HE 染色標本 1 枚

③ 病理診断報告書のコピー

注) ・HE 染色標本は返却いたしませんのでご了承ください。

・HE 染色標本 1 枚は QD 社で行う標本評価に使用します。

・HE 染色標本に病理標本番号をご記載ください。

(上記③病理診断報告書との照会に使用します)

・未染標本のスライドガラスには病理標本番号のみを記載してください。

(患者氏名など個人情報を記載しないでください)

・貸し出されたブロックは 1～2 カ月で返却手続きを行います。

・標本作製費・送料等は、依頼施設の負担となります。

<病理標本作製時の注意点>

1) 病理検体の作製条件

- ① 検体の固定液が、10%中性緩衝ホルマリンであること。
- ② 骨の脱灰標本の場合、EDTA 脱灰法で作成すること。
- ③ 病理標本の腫瘍細胞率(30%以上)と有核細胞からなる組織の表面積が一定量(25 mm²)以上であること。
- ④ 1枚のスライドガラスに載せる薄切切片は1～数枚程度。
- ⑤ 伸展・乾燥のための加熱を避け、常温で管理すること。

2) 未染標本作製時にコンタミネーションを防ぐための留意点

- ① 薄切前に必ず新品のミクロトーム刃に交換すること。
- ② 薄切前に新品のグローブを着用すること。
- ③ 薄切水槽の水を新しいものに交換すること。

注) 上記の注意点の条件での病理標本の作製が難しいと判断された場合は、キースライドのFFPE ブロックの貸し出しをお願い致します。